

2016.4

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行
定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京00100-0-38184

〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3
TEL. 03-3814-3591
FAX. 03-3814-3590

Website: <http://www.rizhong.org/>
E-mail: info@rizhong.org



2016.3.15 本科・日本語科合同卒業式が行われました。

A先生の新語コーナー



rùlán “入籃”

特別引き出し権(SDR)の通貨バスケットへの仲間入り。国際通貨基金(IMF)は昨年11月30日の理事会でバスケットを構成する通貨に今年10月から中国の人民元を加えることを正式に決めた。SDRはIMF加盟国に出資額に応じて割り当てられ、通貨危機などの際にこの権利を引き換えに他の加盟国から外貨を融通してもらうことができる。構正通貨は従来の米ドル、ユーロ、日本円、英ポンドに人民元が新たに加わって計5種類となる。

(A)

ようこそ日中学院へ!今年、わたしたちの学院は、前身である倉石中国語講習会の創設から数え65周年を迎えました。創設者倉石武四郎先生は、創設にあたり以下のように述べられ、わたしたちはそれを大切に育ててきました。

1. これからの中国語を教授し学習するには、あの悪夢のような戦争の否定から出発しなければならない。

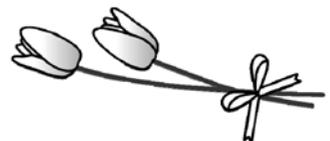
2. これまでの千数百年にわたる中国語文の学習法の否定から出発しなければならない。

みなさんが学ぶ各教室には「学好中国话,为日中友好起桥梁作用!中国語を学んで日中友好の架け橋になろう!」というスローガンが掲げられています。これには、あの悪夢のような1931年から始まった対中国への戦争を2度と繰り返すまい、という決意が込められています。日中国交回復から45年、両国の関係はなかなか安定してくれませんが、その原因のほとんどが、歴史認識に関わることです。私たちは中国語を学び、中国人とコミュニケーションをとり、相互理解に役立てようとする場合、中国の人々が大切にすること、価値観、歴史を学ぶことが必要だと感じています。学院では歴史認識に関わる講演会等を催し、相互理解に役立てようとしています。また学院の図書室には3万点に近い図書、視聴覚教材が備わっており、みなさんの利用をまっています。

私たちは、中学や高校で中国

の漢文、漢詩にであいますし、中国の文字、漢字からひらがな、カタカナの表記が生まれたことを学びます。その結果、漢字と仮名が混じった文を日常的に使っています。こうして日本と中国の縁の深さを知ります。これが曲者なのです。私たちは漢字を常用することに慣れ、失っていくものがありました。例えば、「日中友好」は仮名でかけば、「にちゅう ゆうこう」です。ところが中国語の音をあらわす表記にすれば「RiZhong youhao」となります。「RiZhong youhao」と音声も聞いても理解できない、「日中友好」と頭の中に漢字を書かないと理解できない。日本の中国語教育は長い間、文字による教育に偏っていました。この是正に手を付けたのが日中学院です。私たちの学院は、つとめて口と耳を使い音声言語としての中国語教育に力を入れていきます。まずは発音をしっかりと身につけましょう。

いまや日本においてになる中国人観光客が年間500万人近くになっており、いたるところで中国語が聞こえてきます。口と耳を使った学習は、ますます大切になっています。私たちの学院は皆さんの学習をお手伝いしようと、毎週80あまりのクラスを開講し、70余名の教職員がお待ちしております。どうぞよろしく!



新入生のみなさんへ 本科 小金井京子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。本科を代表して心からのお祝いを申し上げます。これからみなさんは日中学院の本科で中国語を学んでいくわけですが、これからの2年間に大きな希望や期待を感じると同時に、「これからの毎日、どのように過ごしていけばいいのか」あるいは「毎日の授業についていけるか」など、今はそんな不安な気持ちも抱えていることと思います。まずは真っさらな気持ちで毎日の授業に向かってください。その日の授業のポイントを理解し、それを自分のものとして使えるようになるまでしっかり復習して、まず1ヶ月を過ごしてみてください。するといつの間にか中国語が少しずつみなさんのものになっていることに気づくことでしょう。そうしている内に、次のステップではどのように勉強すればいいのかだんだん

わかってくると思います。最初の頃は「発音」になれるだけでいいでしょう。次の段階では中国語の「漢字」や「語順」にも気が回るようになってくるでしょう。そんな風にしみなさんの今の段階に合った勉強のポイントや方法が見えてくるはずです。学習者のレベルによってポイントになること、よりよい勉強の仕方も変わってきます。先輩や先生方の助けを借りながら自身でそうしたものを少しずつ学んでいってください。

日中学院は中国語を学ぶには本当にいい学校であると思います。熱心で意欲にあふれた先生方、一生懸命に学ぶ“同学 tóngxué”、図書室にもみなさんの学習をサポートしてくれる様々な書籍がそろっています。その環境を120パーセント利用して中国語を勉強してください。心から応援しています。



新入生歓迎あいさつ 日本語科 松本朝子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、日中学院で日本語を身につけ、日本の大学や大学院へ進もうとこれからの学校生活に期待していらっしゃることでしょ。そんなみなさんに、私から二つ、お話したいことがあります。

みなさんはこれから2年間、日本語を勉強します。理想の大学、大学院に進学するために勉強に追われる日々を過ごすことになります。2年間、同じモチベーションで勉強に取り組んでいくことができる人はごく稀です。新しい環境で生活していくのは大変なことも多いと思います。慣れないこともあり、途中でいやになることも、悩むこともあるかもしれません。

そんなときは一人で悩まず、私たち教師や事務の方々、周りにいるすばらしい友人たちに話しをしてみてください。話してみると不思議と気持ちが明るくなり日本での生活をつづける勇気がまた湧いてきます。前向きに、ポジティブに物事を考えられることが留学生活を楽しむ秘訣です。

もうひとつお話したいことは、「初心忘るべからず」ということです。

日本へやってきたばかりの今の気持ちを覚えていてほしいと思います。生活に慣れて、「どうして日

本に来たんだろう」と思う時、あるいは、これからの生活で、辛く寂しい時、今の気持ちを思い出して、もういちどがんばってみてください。

皆さんが夢を叶えられるように、私たちは精一杯応援していきたいと考えています。

2年という月日は長いようですが、過ぎてしまうとあっという間です。夢に向かって努力を続け、ぜひ、目標を達成してください。卒業生も日中学院で学んだことを基に、それぞれの場で活躍しています。

日中学院では留学生が中国語を学ぶ方々と交流する機会がとて多く、日本の生の声が聞けます。交流のときはぜひ日本語で話し、日本語力を高めてください。そして日本の文化や習慣も同時に理解を深めていってください。

今まで卒業生が苦しい環境に負けず希望をかなえられた背景には、本人の努力や教師の力だけではなく、日本の方々の協力もあります。日本語と中国語、お互いに助け合いながら交流を深めることができるのはたいへんすばらしいことです。

皆さんの留学生活が実りあるものとなり、日中両国の友好の架け橋となるにふさわしい方となれることを祈っています。

人生足相逢 更上一層樓 別科 胡興智

“春风扑面来 两位就要离开了 更上一层楼”

この句は、元別科生、夏井さんの作った五七五日記です。夏井さんは現在、グループ学習会で中国の古典名著《紅樓夢》を原文で楽しむ他、五七五のリズムで中国語日記を毎日つけています。二年近くで作品は700句を超えました。

春爛漫の頃、心地の良い風に包まれ、新たな挑戦をする学友に贈った励ましの言葉ですが、「更上一层楼」は自身への励ましとも読めます。

“偶然遇到了 新兴趣和好朋友 人生足相逢”

二年間の学習を経て、午前の週2日の応用班を卒業後、再び新しいクラスに入って勉強を続けている秋山さんの五七五日記です。毎回授業後、皆にメ

ールで授業内容とトピックスを報告してくれるのですが、その楽しい報告を読むのも楽しみの一つでした。しばらく読めなくなり寂しい思いをするのは私だけではないでしょう。

学校での新しい出会いの喜びを思う存分表現できた一句ですが、特に最後の一行は心に深く響き、余韻がいつまでも残ります。

新学期にはどんな新しい出会いがあるのでしょうか。どんな新しい新天地が広がるのでしょうか。今後もお二人は新たな夢を抱き、学びの道を歩まれると思いますが、私も新友旧友と一緒に新たな頁を開き、チャレンジをしていきたいと思います。

新しき出会ひ誘ふ春風に吹かれて歩む学びゆく道



陳淑梅先生講演会

「中国語の学び方、楽しみ方」～言葉と文化（外国語と異文化）～

2月6日（土）陳淑梅先生をお招きして、学院302・303教室で講演会が開催されました。お話が始まるや、聴衆は先生の優しく柔らかな雰囲気包み込まれました。日本語の「ご機嫌いかがですか？」という言葉の美しさに惹かれ日本語の学習を始めたという陳先生。来日してもう30年になり、最近では中国人から「中国語がじょうずだ」と褒められるようになったと話し、会場の笑いを誘っていました。

中国人から、あるいは日本人から見たそれぞれのいいところ、不思議なところなどを話題に「異文化とは」、「異文化交流とは」と話が進みます。「日本では店員はいつも何かしていますね。どうしてでしょう。中国では店員は仕事がなければ休んでいます。仕事を早く終えて休もうとします」中国人が日本でアルバイトをすると、言われた仕事だけさっさとすませてすぐ休もうとするように見られてしまう、その理由をついた言葉だと思いました。「郷に入っては…」と片付けずにどうしてそこに違いが生じるのか、お互いにもう一歩踏み込んで考えることができれば更なる理解に進めるはずでした。

「異文化を楽しむとは、言葉によって相手を知り、相手に興味を持つこと。正誤優劣で見ずに、柔軟な気持ちでそれぞれが違うことを楽しむこと。『どうして』と思ったら“为什么?”と聞いてみましょう」と陳先生は話を締めくくられました。また、中国語の学習方法については「繰り返し同じ音声を聞くこともいいでしょう。語学はスポーツです」など、語学に近道はないことも。それでも楽しみながら続けることがなによりなのだ、会場の学生と楽しそうにやりとりをする先生を見ながらそう思いました。

講演会の最後に、進行を担当していた胡先生から「繰り返し聞くのにちょうどよいのでは？」と陳先生の《茉莉花やさしい中国語で読む自伝エッセイ》と《中国語エッセイ 小点心 あっさり味の日中文化論》が紹介されました。日本人は「聞くのが苦手」とよく言われますが、あまり肩に力を入れなくて、陳先生のように「なんてきれいな発音なのだろう！」と思いながら聞くもよし、繰り返し聞いて内容を聞き取れるようにするもよし、さらに同じように言えるようになるまで練習するもよし。苦手意識を克服するためにまず一歩を踏み出してみませんか。少しずつでも、やった分だけは必ずうまくなっていきますよ。

4月からはラジオで《ゼロから学ぶ！“おもてなし”中国語》を担当される陳先生。これからの更なる活躍が楽しみです。（小金井京子）



2016年2月20日に第19回日中学院倉石賞の授賞式が行われました。今年度の受賞者である公益財団法人国際文化フォーラムの水口様よりご寄稿頂きましたのでご紹介します。



憧れの倉石賞を手にして

公益財団法人国際文化フォーラム 水口景子

2015年10月末、出張先の大連で打ち合わせ中に、事務所から「【至急】倉石賞受賞意思の確認」というタイトルのメールが届きました。日中学院の吉田学院長から受賞決定の連絡があったが、受けるかどうか返事がほしいというものでした。心の中で「やったー！受けないなんて選択肢があるわけない」と叫んでいました。

倉石賞とは不思議な縁があります。1993年、国際文化フォーラム（TJF）は、当時私が勤めていた研究所に国内のアジア言語（中国語、韓国語、タイ語、インドネシア語）教育の状況について調査を委託しており、私はその担当でした。調査を始めてまもなく「高等学校中国語教育研究会」（高中研）の存在を知りました。高中研は同年、倉石賞を受賞しており、副会長お2人に初めて会ったのが授賞式の日でした。会場外の廊下で、お2人を待っていたことを今でもよく覚えています。その時、私は倉石賞の存在を知りました。

その後、私は1994年から国際文化フォーラムで働くこととなり、財団の機関誌『国際文化フォーラム通信』の「日本の高校における中国語教育の現場から」というコーナーを担当しました。中国語教育実施校を訪問し、授業を見学させてもらい、担当の先生に話を聞き、記事にまとめていました。インタビューに答えてくれた先生は、どなたも中国や中国語との出会いや中国語教育への思いを熱く語ります。中国を一度も訪問したことがなかった私ですが、その世界を覗いてみたいという気持ちが生まれました。と同時に、TJFは中国の日本語教育事業も実施していたので、その事業に携わる中国の日本語の先生方のことを知りたい、ことばができれば、もっと先生たちと親しくなれるのではないかと、思うようになりました。

意を決して1997年から日中学院で中国語を学び始

めました。授業にはたびたび遅刻、出張となれば欠席と、決して真面目な学生ではありません

でしたが、私にとって中国語はこれまで学んできた外国語とは違い、TJFが提案している「隣語＝隣の人とつながるためのことば」として学習できたと思っています。

TJFは、高等学校の中国語教育に関する調査の実施、高校中国語のガイドラインづくり、教員研修や中国語を学ぶ高校生のためのサマーキャンプの実施など、さまざまな事業に取り組んできました。それが、社会にどのような貢献をしているのか、財団の仕事は成果を測るのがとても難しいのです。今回の倉石賞の受賞が何より嬉しかったのは、これまで、地道に取り組んできたことを客観的に評価してもらえたということです。

今後は、倉石賞を受賞した団体の名に恥じないよう、中国語教育の発展につながる事業を実施していきます。そして、日中学院の先生方に、少しは自慢していただけるような学生であり続けたいと思います。

最後になりますが、長い間憧れていた倉石賞を受賞できたことに対し、皆さんに心から感謝申し上げます。



図書室 だより

来て・見て・読んで — 図書室のご紹介 —

ご入学おめでとうございます。図書室は2階の奥にあり、学院生なら、どなたでも利用できます。室内は狭いですが、電動式書棚を使っているため、2万冊以上の本があります。

ご利用の際には「図書貸出証」をお持ちください。お持ちでない方は図書室で発行いたしますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

貸出冊数・期間

- ・本 … 5冊以内
- ・視聴覚資料 … 3点
- ・貸出期間 … 2週間
(長期休業前には貸出冊数が増えますので、掲示をご覧ください)

開室時間

月～金：12：00～18：45
土 曜：12：00～17：45
*別科期間休みには、通常時より1時間短縮され、土曜は閉室になります。

≪ 予約ができます ≫

見たい図書が貸出中の時、予約しておくとう便利です。手続きは簡単ですので、係員にお申し出ください。

≪ 新聞・雑誌もあります ≫

『聴く中国語』を始め、中文の語学、文学、映画等の雑誌やNHKのテレビ・ラジオの講

座のテキストがあります。図書室入口には『人民日報』もありますので、上級クラスの方は試験対策としても活用できます。

≪ 最新資料のご提供 ≫

中検・HSK等の検定に備えて問題集は最新のものを用意しています。また、弱点克服のための各種参考書も沢山ありますから、きっとあなたの学習に役立つと思います。

これら以外にも、文学・社会・芸術等の多岐にわたる分野で日文書・中文書を豊富に配架しています。

≪ ドラマ・映画で学習 ≫

DVDを使って、映像を楽しみながら、中国語を学ぶ方法は如何ですか？

往年の名作から最新の人気作品まで、日本や中国等で発売されたものが全部で800本以上配架されています。存分にお楽しみ下さい。

◆◆お勧めの一冊◆◆

試験対策として

●中検問題集2016年度版(第85回～第87回・准4級～准1・1級)中検研究会編 2016 光生館

●合格奪取!中国語検定トレーニングブックシリーズ(准4級～准1・1級)戴曉甸著 2016 アスク出版

●出るところだけ!中国語検定シリーズ(准4級・4級・3級)長澤文子・盧尤著 2015 アスク出版

●中国語検定HSK 公式過去問集(1級～6級) 2015年度版 孔子学院总部等著 スプリックス

ス編 スプリックス

※その他にも各種検定対策問題集があります。

入門書として

●『決定版!中国語学習ガイドブック』コスモピア編集部編 2013コスモピア

●『中国語学習Q&A200』中国語ジャーナル編集部編 2013 アルク

その他

●『論説体中国語 読解練習帳 2015(初・中級編)』春 雑誌からインターネットまで』三瀧正道 2015 東方書店

●『中国語で案内する日本』塚本慶一・芳沢ひろ子著 2015 研究社

DVD (最近の話題作)

●『親愛的』(邦題:最愛の子) 陳可辛監督 黄渤・趙薇主演 中文字幕

●『帰来』(邦題:妻への家路) 張芸謀監督 陳道明・鞏俐主演 中文字幕

●『KANO 一カノ一 1931海の向こうの甲子園』

馬志翔監督 永瀬正敏・曹佑寧・大沢たかお主演 日本語字幕

*日本未公開の中国話題作も多く取り揃えております。

【そのほかの御案内】

- ・新着の図書やDVD等は掲示板や学院報でお知らせします。
- ・書架を移動する時は係員に遠慮なく声をかけてください。その他ご不明な点も気兼ねなくお尋ねください。

係員一同皆様のご来室を心より
お待ちしております。

4月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
					1 ●別科公開講座 18:45～(入門・基礎)	2 ●別科公開講座 13:00～(入門・基礎)
3	4	5 ●本科・日本語科 合同入学式	6	7	8	9 ●別科公開講座 13:00～(入門・基礎)
10	11 ●本科・日本語科・ 別科授業開始 ●本科・日本語科 オリエンテーション	12	13	14	15 ●中国語検定受付 開始	16
17	18 ●本科 学生 支援機構奨学金 募集開始	19	20	21	22 ●日本語科 都内見学	23
24	25	26	27	28	29 ●本科・日本語科・ 別科 GW休み 開始 (~5/5)	30
●5月の日中学院 ・6日…本科・日本語科・別科授業再開 本科就職説明会 ・7日…本科学生支援機構奨学金締切			・9日…本科 発音補助 東京都育英会奨学金募集開始 ・13日…本科2年、本研、日本語科 健康診断		・16日…本科 東京都育英会奨学金募集締切 中国語検定受付締切 ・18日…本科・日本語科日帰り合宿 ・27日…本科 短期研修説明会	

【耳目】

○おめでとうございます！

静岡県では、2月23日を「富士山の日」と条例に定め、「富士山」又は「富士山に関するもの」をテーマとした「富士山漢詩コンテスト」が行われました。別科文化講座で書道班を担当されている横山栄仙先生にが優秀賞に入選されたのでご紹介します。

望富士

春晚尋来東海辺

潮風吹処夕陽円

停車仰看蒼天裏

紅雪芙蓉今正妍

富士を望む

春晚尋ね来たる東海の辺

潮風吹く処夕陽円かなり

車を停めて仰ぎ見る蒼天の裏

紅雪の芙蓉 今正に妍なり

○特別講座のご案内

- ・音節表で学ぶ発音講座 担当：櫻井希実子
5/14(土)から全4回/13:30～15:30
受講料14,400円(在学生割引あり)
- ・音読から学ぶ発音講座 担当：小沢光恵
5/19(木)から全4回/18:45～20:45
受講料14,400円(在学生割引あり)



○【中国語笑い話】その2

请示

法官:法庭对你的重婚宣判无罪,你已经获得自由,可以回家了。
被告:谢谢,先生。不过,为了安全起见,请问我该回哪个家?

『幽默汉语』北京语言大学出版社より

○今後の公開講座

・6月17日(金) 18:45～20:45

・6月25日(土) 13:00～15:00

どちらも、入門講座、基礎講座を開講します。ご希望の方はお電話等でお申し込み下さい。多くの方のお申込みをお待ちしております。

※日中学院での学習が初めての方が対象です。